

かながわ福祉移動サービスネットワーク 2017 年度活動計画書

【活動計画】

1. 外出支援活動推進のための事業

1) 移動サービスを推進する事業

① 会員団体の現状と課題把握のためのヒアリング

継続困難を理由とした団体の解散が増えています。会員団体の現状と課題を理事等がヒアリングし、課題を共有化し解決に向けて共に取り組みます。

② 市町村事業への参加

創設された生活支援体制整備事業（介護予防・日常生活支援総合事業）に福祉有償運送団体としてどう関わるかなどを含め、会員団体との意見交換を進めます。

③ 訪問型サービスD（移動支援）の活用にむけた働きかけと支援

介護保険制度改革に伴い各地で一層・二層の協議体等が立ち上がり、地域の移動の課題が検討されはじめています。市町村が策定する第7期計画に訪問型サービスDを位置づける働きかけへの支援を行います。

④ 担い手養成研修の実施

移動サービスの担い手発掘・養成のための研修を行います（研修事業に再掲）。

2) 移動サービス（福祉有償運送）を普及啓発する

① 福祉有償運送学習会・意見交換会（県と共催）

県と共に学習会を県内6か所で開催し、また、意見交換会を併せて開催します。

移動サービス団体、ケアマネジャーはじめ福祉関係従事者、運営協議会委員、自治体の関連部局、交通事業者、地域の民生委員等、移動困難な人への情報のキーパーソンとなる方に広く周知できるよう県・地域福祉課と協力して進めます。

② 移動サービスの周知・担い手拡大のための活動

いくつかの地域では自治体や社会福祉協議会と連携して活動への参加を呼びかける住民向け説明会などの取り組みがみられます。担い手不足解消のため、このような事例を収集し、会員に情報発信します。

③ パンフレットの刷新の検討

移動サービス活動、福祉移動サービス情報サイトの周知、かながわ移動ネットの活動を紹介するパンフレットの作成を検討します。

④ かながわバリアフリーフェスタ 2017への協力

神奈川県主催のバリアフリーフェスタかながわ 2017 に実行委員として参加し、移動サービスをアピールします。

⑤ ボランティアフェスタかながわ 2017への協力

かながわボランタリー活動推進基金 21 情報交換会の主催のボランティアフェスタかながわ 2017 に実行委員として参加し、活動のアピールおよび活動参加への呼びかけをします。

3) 住民主体でつくる外出支援の推進事業

全国的に買い物等のくらしの足を地域の住民が担う活動が注目されています。

その手法は様々で、社会福祉法人の地域への貢献を義務付けた社会福祉法人法の改正（社会福祉法人改革）や生活支援体制整備事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の制度を活用したものも検討されています。

① 住民主体でつくる交通まちづくりの活動支援

全国的な取り組み事例の情報を共有し、住民が主体となってつくる交通まちづくりの活動を応援します。

また、大和市西鶴間、横浜市菊名、厚木市森の里など、立ち上げ支援を行った団体の継続した支援を行います。

4) 交通事業者との連携による移動支援の推進事業

① 福祉ニーズに応えるタクシー推進プロジェクト（神奈川県タクシー協会と共に）

障がい児・者の移動ニーズは年々増える傾向にあり、担い手としてNPOだけではなくタクシー事業者の担う役割が期待されます。知的障がい児・者の移動手段の1つの選択肢として、タクシー利用を推進します。また、利用に向けたルールづくり、推進地域の拡大を目指します。さらに重症心身障がい児・者のタクシー利用についても普及を支援します。

5) 相談事業

① 利用相談

外出に困っている方たちの相談に答えます。福祉輸送情報ホームページを逐次更新し、利用相談に役立てます。相談には、福祉有償運送団体の紹介をはじめ、福祉限定タクシー、一般タクシーなど、それぞれのニーズ等に合わせて多様な外出手段を紹介します。

② 団体支援

会員団体や団体の新規立ち上げについて、制度や運営に関する相談対応を行います。また、移動サービスに関わる社会情勢の動きを情報発信します。

③ 活動づくりの支援

住民主体のサービスづくりを検討する自治体、地域の取り組みを支援します。法制度学習等の相談、また、地域での取り組みを具体的に支援します。

2. 研修事業

1) 国土交通省認定福祉有償運送・セダン等運転者講習

県内5か所での開催を目標とします。

2) 福祉有償運送運行管理者・リーダー研修

運行の安心・安全意識の向上を目的に県内2か所で開催します。

3) 移動サービス担い手養成研修

地域における買い物支援等の外出の足を確保する動きが活発になっています。

生活支援体制整備事業（介護予防・日常生活支援総合事業）訪問型サービスD等の担い手養成のため、厚生労働省の地域医療介護総合確保基金を活用した神奈川県主催の研修の受託を目指します。

4) 施設送迎運転者研修

企業からの依頼に応え、関連会社のデイサービス送迎の従事者研修を実施します（国交省認定福祉有償運転者講習を実施）。

6) かながわコミュニティカレッジ講座

高齢者の免許返納後の生活の足の確保を考える講座として、外出支援の担い手づくりの講座を開催します。

7) ユニバーサルドライバー研修

神奈川県タクシー協会（4回）、神奈川県個人タクシー協会（2回）の依頼を受け、利用者理解、車いす等の介助実習を行います。

8) 自治体・団体との連携による研修事業等

外出支援の取り組みを推進する自治体・団体の研修等に講師を派遣します。

3、講演会等開催事業

1) シンポジウムの開催（協力）

くらしの足をみんなで考える全国フォーラムの事務局として開催準備・運営を担います。

（10月 28・29日 東京・白山／東洋大学にて開催）

4、調査・研究、政策提言活動

1) 移動・外出支援活動の情報収集

県内・外での住民を主体とした取り組みを視察するなど、情報収集に努めます。

2) 移動困難者の課題の解消に向けた政策提言

- ① 全国移動サービスネットワークと連携・情報共有し、国交省の「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」などへ意見を発信していきます。
- ② 横浜市交通政策推進協議会（地域交通部会・交通計画改定部会）への参加を活かし、移動の手段確保が難しい地域の高齢者等の状況を会議で共有し、福祉有償運送や地域のたすけあい活動の重要性をアピールします。交通計画に移動困難な人の外出手段の確保を位置付けるよう意見を発信します。

3) 各団体との連携活動

- ① 横浜交通まちづくり協議会のメンバーとして下記の活動を進めます。

- ・ユニバーサルデザインタクシーの普及啓発のためのリーフレット作成、広報活動
- ・だれもが移動しやすい公共交通の活性化の促進、意見交換
- ・横浜市交通計画への意見具申と、交通計画策定の情報発信

- ② 神奈川ワーカーズコレクティブ連合会移動サービス部門と連携します。

- ・社会情勢の情報の共有

- ③ 神奈川県タクシー協会と連携し、移動ニーズの対応を進めます。

- ・ユニバーサルドライバー研修講師
- ・福祉ニーズに応えるタクシー推進プロジェクト

- ④ 横浜移動サービス協議会と情報共有し、連携します。

- ⑤ その他の連携

4) 関東運輸局「地域公共交通マイスター」に関する活動

各関係機関と連携し、移動・外出支援の拡大、活性化、再生、利便性の向上に努めます。